

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：北海道の昆虫相 ILAS Seminar : Insect fauna in Hokkaido			担当者所属 職名・氏名	フィールド科学教育研究センター 准教授 小林 和也 フィールド科学教育研究センター 助教 杉山 賢子		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	8(8)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中	教室	未定			使用言語	日本語
キーワード	生態学 / 昆虫 / 森林施業 / フィールド調査 / データ解析						
【授業の概要・目的】							
フィールド科学教育研究センターの北海道研究林標茶区(川上郡標茶町)を中心に、北海道の森林生態系における昆虫相とその成立要因について調査・研究手法を学ぶ。							
【到達目標】							
北海道の森林生態系についての基礎知識を理解する。 昆虫や植物の同定・調査手法を修得する。 北海道における森林施業について知る。 データ解析の基礎を習得する。							
【授業計画と内容】							
1. 授業ガイダンス(京都) 説明会実施日時・場所：4月～5月の金曜5時限目に農学部総合館にあるフィールド研会議室(N283)で行う予定である(状況に応じて遠隔講義となる可能性がある)。日程が確定次第、KULASISに登録されたメールアドレス宛に連絡する。							
2. 北海道の森林について学ぶ 3. 動植物の名前を覚える 4. 昆虫調査法を学ぶ 5. 得られたデータを解析する 2～5は、夏休み期間中に京都大学フィールド科学教育研究センター北海道研究林(標茶区)において行う。各テーマについて、講義と野外実習を行う。また実習期間中に野外実習の成果をとりまとめ、レポートの作成を行う。							
解散・集合場所はJR釧網線の標茶駅を予定している。 8/6夕方集合、8/10朝解散の予定。実習前後の宿泊も可能(事前に要相談)。詳細は京都で開催する授業ガイダンス時に連絡する。							
【履修要件】							
特になし							
【成績評価の方法・観点】							
講義と野外実習、レポート作成への積極性や知識の習得状況(レポート)により総合的に判断する。詳細は授業中に説明する。							
ILASセミナー：北海道の昆虫相(2)へ続く							

ILASセミナー：北海道の昆虫相(2)

[教科書]

授業資料（プリント）を配布する。

[参考書等]

（参考書）

『札幌の昆虫』（北海道大学図書刊行会）ISBN:978-4832913912（実習中は貸し出し可能）

『昆虫生態学』（朝倉書店）ISBN:978-4254420395

[授業外学修（予習・復習）等]

現地での実習前に北海道の自然に関して予習しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

- ・ 集合場所までの旅費は受講生負担になります
- ・ 現地にかかる費用はおよそ1万円（宿泊費食費等実費）です
- ・ 参加希望者は学生教育研究災害保険（学研賠つき）に必ず加入してください
- ・ 気温が京都より10 くらい低いことを考慮して防寒対策をしてきてください
- ・ 集中講義で採点報告日頃を実施するため、成績報告が遅れる可能性があります